

## 地震とは？

# 断層運動によって起こる、3つのタイプに分類される地震。

※プレートとは…地球の表面は厚さ数10~200km程度の固い岩石の層で覆われ、その層はいくつかのブロックに分割されています。この板状の固い岩石の層をプレートと呼びます。

プレート内で発生する地震

プレート境界で発生する地震

内陸部の活断層を震源とする地震

日本の太平洋側で海洋プレートが陸のプレートの下に沈み込んでいるため、日本列島には東～西方向ないし、南東～北西方向に強い圧縮の力がかかっています。

プレート先端部が跳ね上がることで、マグニチュード8クラスの高震度地震が発生することがあります。日本列島付近でこれまでに起きた地震の震源を調べると、その多くがプレートとプレートの境界付近にあります。

火山国の日本では、火山活動による地震も多く、そのため地震が起こる湯所をみると…

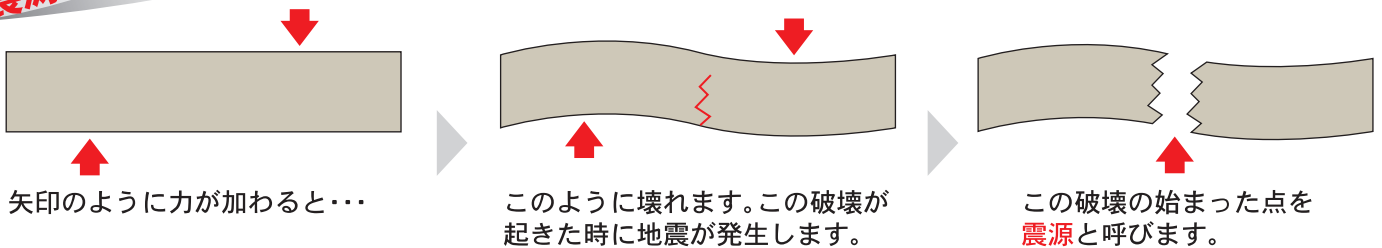
プレート境界付近でおこる地震

陸地の浅い場所でおこる地震

火山の近くでおこる地震

などのタイプに分類できます。

## 震源とは？



布田川・日奈久断層帯は、熊本県阿蘇郡南阿蘇村(旧長陽村)の阿蘇外輪山の西側斜面から葦北郡芦北町田浦(旧田浦町)を経て八代海南部まで、一部でやや方向が変化するものの、全体としてほぼ北東-南西方向に延びる長さ101kmの断層帯となっています。本断層帯は、南阿蘇村長陽の阿蘇外輪山西側斜面から上益城郡甲佐町付近までの北東部、甲佐町付近から芦北町の御立岬付近までの中部、及び御立岬付近から八代海南部までの南西部の3つの区間からなっていると推定されます。全体として右横ズレと断層南東側の相対的な隆起を主体とし、一部では断層が並走して小規模な地溝帯を形成しています。

## 阿蘇市地震防災マップ

阿蘇市は、市民の防災意識の高揚を図り、皆さんの生命や財産を守る目的として、予め震度や地震に対する知識を掲載した阿蘇市防災マップを作成しました。

このマップは、地震時の危険性を想定し、地盤の状況と、そこで起こりうる地震から地域の揺れやすさを震度で表した「揺れやすさマップ」を元に作成しています。

### ■揺れやすさマップ

「揺れやすさマップ」は、発生のおそれがある地震による地域の揺れやすさを「震度」として評価し、住民の皆様方が自らの居住地を認識できる地図の上に表現したものです。ここに示した震度は、地震の規模や震源の距離から予想される平均的な揺れの強さです。地震の発生の仕方によっては、揺れはこれより強くなったり、弱くなったりすることがあります。また市全域が同時にこの震度になることを表現しているものではありません。